

## ●新規雇用の推進

- 「緊急地域雇用特別対策事業」等の実施(H11~H16)  
約11,000人の雇用を創出
- 仕事探しの総合相談窓口、奈良県しごとiセンターを奈良、高田の2箇所に開設・運営(H14~)

就業相談件数 約94,000件



- 就農支援特区(農地取得下限面積の緩和)の設定と「担い手バンクシステム」設立(H16)  
約30haでマッチングが成立
- 指導農業士及び女性農業士制度(H6創設)の推進  
H3以降、指導農業士84名、女性農業士55名を認定
- 勤労者生活支援資金の融資(育児休業等)(H5~)
- 働く女性の仕事と家庭の両立モデル事例集の作成(H18)
- 婦人就業サービスセンターの運営(~H13)
- 働く女性の相談窓口の設置(H18)

## ～ライフスタイルに合わせて働く～

県外就業率が全国一高い本県にあって、女性、高齢者など、仕事を求める人々が、個々の能力やライフスタイルに応じて仕事に就けるように、相談窓口の開設や職業訓練などの取り組みを進めてきました。また、昨今のニート問題にも対処するため、若年者の就業意識を高めるための取り組みなども進めてきました。

## ●高齢者等の就業支援

- 地域支え合いカンパニー支援事業(H15~)
- 奈良県シルバー人材センター協議会を設置(H6)
- シニア世代経験活用・就業支援データベース「ならキャリア活用システム」の運用開始(H18)



- シニアライフセミナー等の開催(H17~)



- シニアファーマー・アタックファーマーなどの育成(H17~)



- 中高年者を対象とした職業訓練の実施(H11~)  
約1,400人が訓練を修了

## ●若年者の就業促進

- ならジョブカフェの設置と運営(H16~)



700人以上が就職



- 子どもの自立心を育む「子育て読本『これだけは』」の作成・配布(H18~)
- 高校生自立支援事業(H18~)  
高校1年生を対象とした教材「あしたのかたち」を作成・配布



- ニートを語る集いの開催(H18)



- ジョブサマースクールの開催(H16~)



3年間で約1,300人が参加

- 若年者就業実態調査の実施(H18)

## 元気の政策

- 高校生行政インターンシップの実施(H16~)

264人が体験



### 一口メモ

- 合同就職面接会等を開催  
就職氷河期の中、若年者の就業を促進するため、高校や大学の卒業生を対象に**合同就職面接会**及び**合同求人説明会**をH12から開催してきました。

あわせて約920社、4,200人が参加



5

働く